

露兵動負ニ關スル風説取調件

ト
キ
ス

MT

514-11

13

5-0094

0077

人臣

總務長官

政務局

通

然悟
海聖
王課
長

電信課

電受第一號

Words
16

Via North. Dated. *Odessa* 28 2 1903 11-20 a. M.
East. Rec'd. 1 3 1904 8-55 a. M.

Komura
Tokyo

No. *He* have reason to believe
military authorities of *Odessa*
have received secret instructions
to prepare for mobilization.

Ajima

MT 514-11

14

大正

秘

電報

二月二十八日午前十一時三十分オデッサ発
三月一日午前九時十分着

金

印

お尋ねの事
23
S.O.

参謀總長宛

武藤大尉

「オデッサ」ノ軍隊動員シツ・アリ

MT

514-11

15

5-0094

0079

sentiments among the Chinese. This ^{and I do not think it need} is a country of great rumour, to be too sensitive about all these rumours.

I talked with Mr. de Hartwig on the question and he told me that that is question on which he has just received report from Russian Ambassador to Turkey that Turkish Consul at Sevastopol is spreading all sorts of false rumour about preparation of Russian Black Sea Fleet and mobilization of Southern Armies, & said that there is no foundation whatever in the rumour. But I shall see some foreign representatives on the question and if there be anything worthy of your information, I shall telegraph again.

MT

514-11

17

Kurino

Kurino
Petersburg

no 20 在 Odessa 電報 telegraphed 28/2 that he had reason to believe that military authorities of Odessa had received orders to prepare for mobilization.

You should try to find out if the report is founded, and if so, the objective of the ~~the~~ proposed movement which I think must be ^{in connection with the Macedonian} the Balkan ^{Question} peninsula.

Komura

Sent March 2nd 1903 4 pm.

MT

514-11

16

電送第

1

(7)

號

3600

陸海軍大臣
 陸軍大臣
 海軍大臣
 大正

電信課
會計課
人事課
通商局
政務局
總務長官

Via	North.	Dated.	M.	Y.	D.
		Petersburg,	5	3	1903
	East.	Rec'd	6	"	1903
Komura					
Tokyo					
No. 20. Your telegram 20 received					
Since about month ago, there are					
several rumours about mobilization					
of Southern armies and very re-					
cently it says that troubles of					
three years ago in China are					
most liable to re reoccur in					
near future, and, that this may					
be taken as accounting for the					
certain symptoms of special mi-					
litary preparations in Southern					
Russia, and, that Japanese spies					
and agents are stirring up in					
China and Manchuria restless					

MT
514-11
18

秘

報告

二月十二日オデッサ發
三月廿八日 着

田村參謀本部次長宛

在オデッサ 武藤大尉

ちふ

2/3

一五

オデッサ地方ノ軍隊巴爾幹半島ニ派遣セラレントス

去ル一月中旬當地方ノ軍隊ハ動員準備ノ内訓ヲ受テネリトノコヲ

聞知セシガ其後探知スル所ニヨレハ當地方ノ軍隊が何レハ出發準備ヲ

整ヘツアルコトハ事實ナリト云フ

信ズベキ筋ヲ傳聞スル所ニヨレハ當地屯在ノ「コサツ」第八聯隊(千五百人)ハ近々

「ホルガリヤ」ノ「ウアルナ」港へ輸送セラルル事ナリト云フ

又他ノ方面ヨリ聞ク所ニヨレハ「ウアルシヤ」ノ「ロムシヤ」附近

軍隊モ出發ノ準備ヲ整ヘアルモノト如シ(動員シタルニアラス)

MT

514-11

19

ちん

経

陸軍

陸軍

第...部

明治三十四年三月...

機密第四號

本支

23

...

オランダ軍隊輸送準備ノ
風説ニ関スル件

去ル一月中旬當地駐在軍隊が一部動員準備
ノ命令ヲ受ケタリトノ知人某ヨリ聞知被候ニ付
其眞偽ヲ確メント欲シ種々手ヲ廻ラシメ知シタルモ
未タ事實ト認めハキ形跡ヲ得ズ又之ヲ四圍ノ事情
ニ照シテ新シタルモ動員ヲ要スルハキ原因ヲ發見セザ
リシニ付早ニ注意ノ爲メ東部公使へ私信ヲ以テ之
ヲ報シ且ツ當地駐在兵助、出張員ニ告グルニ
止メ置キ候然ルニ昨今ニ至リニ三ノ我同僚間ニ
於テモ軍隊ノ動靜ニ異常ナルヲ、出張ノ準備
ニ係リテ、軍馬ノ購入、兵站官ノ任命等ニ關シテ同
様ノ風説ヲ聞知シタルモノアリ殊ニ數日前或ル信ス
ヘキ助手ノ報導ニ據レバ「ニコラエフ市」(當地ヨ
リ北西四五哩隔タル處)駐在、歩兵五十一聯隊
近日オランダニ未タリ更ニ他ノ地方(ボルガリヤ國)アルナ
「Leningrad」(モスクワ)ニ輸送セラルヘク又オランダ
ノ歩兵二聯隊及ドンコウツク騎兵モ出張ノ準備中ナ
リト云フ

在 公 館

前記報道ハ稍々信スヘキ風説トシテ聴クノ外別ニ
確乎タル事實ノ根據ハ今日ニ於テ明示致シ難キハ
勿論軍隊以外ノ人心ハ極メテ靜謐ニシテ未タ何
等ノ異兆ヲモ呈セス又今日差支リ軍隊ノ輸送
ヲ促スヘキ政治上ノ理由トシテハ「ゴセド」ニヤ行政改革

MT

514-11

21

MT

514-11

20

5-0094

0083

問題、外ニ無之様、漁存而カモ同問題ニ関シテハ、露
奥兩國ヨリ提出スキ改革案モホメテ發表セラレサル
ノ今日、隨テ送兵ノ見ルカ如キヲアルベシトモ思ハレズ
候得共、此ノ角事軍機ニ関シ候モ、ソノ付テ取敢テ
参考迄ニ申進候、茲具
明治三十八年二月十五日

在オランダ

領事 飯島龜太郎



外務大臣野村吉三郎殿

在外公館

MT

514-11

22

横手ハロ

露國南軍動員ニ関スル件

本年二十号貴電ヲ以テ所聞合モあリ、存ゾデガ録子
報告ニ係ル同地方ニ於テ動員ノ凡説ニ関シテハ、最モ
同領事ヨリ老面ヲ以テ所合セ供ニ依リ、本官ニ付
其全ノ凡聞ニ過キザンヘキノ面、致電供、次有之供
其其後右電信ヲ以テ所聞合ヒあリ、依リ、本支
本月甲、外務省カ一局長訪問ノ序ヲ以テ右動
員ノ事ニ関シテ談話方試ニ供、在、全ノ無根ノ凡説
ニ過キズ、而シテ土國駐在露大使ノ報告ニ依リ、在セバ
ストボル土國領事ハ、頃日來、種ノ凡説ヲ捏造
シ、或ハ里海艦隊準備、或ハ露國南軍ノ動員ホニ
関スル虚報ヲ流布シ、モトニ問題發生ノ際、何オ自困

在露國日本公使館

ノ為メニ利セント計畫スルモノ、セシトノ事ニ有之供、在、即日
電報ヲ以テ申進供、面ニ有之供、

其後猶本件ニ関シテ、土國駐在ノ同僚ホト相話ニ供、在、
何レモ其全ノ凡説ニ過キザルヘキヲ語り、所、供、動員ノ凡説
ハ、独リ露國ノミナラズ、樺國、カザニア、土耳古オモ又動員
ヲ始メ、ソリトノ凡説行ハ、何モ其虚報ナルヲ示明シ、ル
カ殊ニ露國政府ハ、其、公示ニ於テ、本問題、ホ、一、漏ノ
血ヲモ、動員ノ一片ノ財ヲモ、穢ニセサルヘキト、断言セ、在、是、在、
動員ノ凡説ニ対スル、大、明、瞭、ナル、聲、明、ナル、シ、ト、モ、有、
之、在、又、露國、今日ノ、状況ヲ、考察ス、ル、モ、目、ハ、半、島、問題
ヲ、利用シ、其、宿、望ヲ、達、ス、ル、時、機、ニ、ア、ラ、サ、ル、ハ、全、國、連、動
者、ノ、熟、知、ス、ル、必、況、ニ、ヤ、西、交、経、済、上、莫、大、ノ、費、用ヲ、要、ス
ル、今日ニ、當リ、露國ノ、事ヲ、好、ム、カ、コ、ト、キ、露國ノ、事ヲ、好、ム、カ、コ、ト、キ、
露國ノ、事ヲ、好、ム、カ、コ、ト、キ、露國ノ、事ヲ、好、ム、カ、コ、ト、キ、

MT

514-11

24

MT

514-11

23

モノ有之
 並テ市承和ノ通リ雪國カ新聞ノ檢閱ヲ嚴ミテ國民ノ耳
 目ヲ蔽削スハ結果日帝難多ノ凡庸臆後ヲ散布ス
 ハ其際ニ有之付ハ白後雪國ニ於ケル凡諸ノ就テハ余リ
 寧キヲ孟セサル極致度候
 此段申進候故具
 明治三十四年二月十三日
 在露
 時余全權ヲ使 栗野慎一
 外務大臣田中少村善吉郎殿
 在露國日本公使館

MT

514-11

25

5-0094

0086

手
上

明治三十四年五月四日 主官 松本

機密信第五號

オデノ方面露軍動静ニ関スル件

金

23

オデノ地方軍隊ノ動員準備ニ関シテ本年二月十五日付機密信第四號ニ於テ及報告置候処其後今日ニ至ルモ外觀上ニ於テハ何等ノ異状ヲ認メヌ又過ル二月中旬ヨリ下旬ニ亘リテハ此地ノ風景漸ク減衰シ或ハ露地方軍隊ノ準備動作ハ寧ニ平時ノ兵備ヲ嚴肅ナラシメントスルニ止リ他特別ノ月の有スルニテラストスラ傳タルモナルニ至リ然レモ或一部ノ社會ニハ今日猶種々ノ風説ヲ傳ヘ或ハ露國ハ巴爾幹兵亂ノ避クハカラサルヲ豫想シ之レニ應スルノ準備ヲ整ヘツアリト云ヒ或ハ一歩ヲ進メ露國ハ此キ將來ニ於テ近東ニ一大活動ヲ試ミントスルモノナリト云ヒ或ハ近頃ニ於ケル南露軍隊ノ準備作業ハ進展問題ニ干係スルモノナリト説クモノアリ論議區々其帰着スル所ナレトモ露面ニ一ノ暗流ヲ認ルニ至リテハ其帰着ヲ一ニセルモノハ如シ要スルニ當ル地方ノ軍隊ガ今春以來特別ノ準備ヲ為シタルハ疑ヲ要サザル所ナルモ其目的ノ果シテ何レノ邊存スルヤハ今尚ホ斷言ツ下スヲ能ハス由ラ本年一月以降小官ノ耳目ニ觸レル現象ニシテ特ニ注意ヲ惹キタル事實并ニ風説等ヲ更ニ左ニ列記シ以テ御參考ニ資セントス

在外公館

MT 514-11

27

MT 514-11

26

5-0094

0087

一、動員準備ニ付第一、風説（一月十六日小官）一月十五日夜某夜會ニ於テ時官某ハオデカ地方ノ軍隊ハ動員準備ノ内訓ニ接セシメテ口外セリト聞ク

二、一月十六日當地英國領事ノ談英國領事モ前項ノ事ト地ノ方面ヲ傳聞セリト聞ク

三、寒中臨時射撃演習
 當地方ノ軍隊ハ二月初旬五日間、射撃演習ヲ実施セリ

四、二月十六日英國副領事ノ談
 當地方ノ軍隊ハ遠カラズ何レハカ派遣セラル、オランダノ説アリ其派遣先キハシタ知ルニ由ナキモ哥薩克勇ハ聯隊ガ近日中ワルナリ漢ノ騎兵セラルノ計畫ヲウハ確実ナルカ如シ又コラエツテノ報ニ據ルニ同地ノ軍隊モ出立ノ準備ヲ為シアリト云フ

五、二月十七日前項ト粗シ同一ノフ人某モ小官ハ傳ヘタリ

六、二月十八日武藤ノ知人某、許ニ達シタル私信ロムジヤノ軍隊ニ在ル某一年志願兵ヨリ家族ニ送リタル私信ヲ見ルニ我軍隊ハ近日何レハカ派遣セラル、ナラシ目下準備中ナリ此項土耳其トノ戦争談行ハル云ヒトアリタリ

七、二月十九日露人某、談話（小官ハ直話）余ノ親戚ナル將校集ハ何レハカ派遣ノ余ニ接シ

MT

514-11

29

MT

514-11

28

5-0094

0088

急ニ出発スリ其目的地ハ不明ナリ(秘密云々)

ハ、二月廿四日倫敦タイムズ紙「モスクワ」通信トシテ
 オランダ及キエフ地方軍隊ノ動員準備ニ関スル
 詳細ナル報導ヲ掲ケタリ

此ノ通信ハ實際ニ於テハ當地「タイムズ」通信員
 ノ在リタルモノニシテ疑点多シト云モ多少ノ事
 実ナルヲ認ム

九、二月廿七日武蔵ノ知人某ノ談話
 曰ク余ノ知友將校某ハ當地軍隊ノ動員準備
 ヲ為レタリハ事実ナリト確言セリ然レ其目的
 何レニ在ルヤ明カラズ云々

十、三月三日豫備役兵外國旅行禁止
 其動員ニシテハ豫備役兵、外國旅行ヲ禁止ス
 在外公館

止メタリト聞ク

十一、試験的動員規則ノ公布(三月七日)
 當市知事ノ官報ニ本年二月規定セラレタル
 試験的動員規定ニ附帶スル一規則ヲ公布ス
 此規則ハ召集免除ノ特典(徵召馬匹ノ報酬
 金等)ヲ定メタルモノニシテ過日當市ヨリ稍遠キ
 一地方ノ軍隊ニ於テハ既ニ試験的動員ヲ実
 行セリ

十二、三月七日當地新聞ニ左ノ記事ヲ見ル
 一、近頃陸東行キノ貨物集積シタルニヨリ或
 勇勝隊ハ南露邊境ヲ通過貨物ノ滯滞ニ
 関シテハ其責ヲ負フ能ハズ云々
 (因ニ託ス)小官ニ他ノ方面ヨリ傳聞スル所ニ

MT

514-11

31

MT

514-11

30

豫レハ東洋行キ貨物ハ月々大ニ減少シ各商社ハ其積荷少ナキニ慮リト云ヘリ又戦勇艦スモレンスク、モスクワ及ヘルツンノ三隻ハ昨夏以来セバストホルニ碇繋セラレタリアリヨール及バテルブルク等ノ今後ノ航路ニ関シテモ未タ今日迄其表ヲ見ズ

尤モ戦勇艦定期航海表中四月十五日ニオデッサク解纜スヘキ規定ナルカストラポリ等ハ其解纜ヲ四月一日ニ繰上ケタルアリ
ニ、左ノ三艦ハ結束ニ於ケル警備勤務ニ充テ
為メ近日里海ヨリ任地ヘ向フ事ナリ

ドネーツ等

ニ等艦

フルヒータ等

ヨリ常山派

在外公館

ボエリグデレー等

今上

三、臨時乗船演習

当地軍隊ハ三月廿四日より連續五日間芝罘艦三隻ヲ使用シ乗船演習ヲ実行シタリ

四、草秣及彈藥原料輸送ノ風説

三月下旬當地軍隊ヨリ多量ノ草秣ヲワルナリ港ニ輸送シタリトノ風説アリ

又近頃彈藥、原料當地ニ輸入セラル、モ頗ル多量ナリト

(因ニ記ス)當地ニハ火藥及彈丸製造所ナシ

十五、里海艦隊ノ遊戈期

セバストホルニ英國副領事ヨリ當地駐在英

MT

514-11

33

MT

514-11

32

「マセドニア」事件之情況並「オデッサ」地方軍隊ノ
動員準備ニ關スル判斷 在「オデッサ」武蔵大尉

馬ル幹手島ノ情況動モスルハ一大紛乱ヲ惹起セントスルノ恐レアル時ニ當リ「オデッ
サ」地方ノ軍隊ハ動員準備ノ内訓ヲ度テ殊ニ露澳兩國ノ提議ニ係ル歐羅巴土耳
古三縣改革案が果シテ土耳其帝ニ容レルヤ否ヤ未ダ明カラサルノ當時ニ於テハ當
地軍隊ノ一部ハ將サ「ボルカリア」内地ニ進發セントスルノ訃傳ハリタルハ報告後
九及第十号ヲ以テ報告セシ如クナリシガ退イテ熟考フルニ露國當局者ガ果シテ斯
ノ如キ大決心ヲ有スルヤ否ヤ甚ク疑ヒナキヲ得ス。当地方軍隊ノ動員準備ノ如キ或
ハ他ノ方面(殊ニ總東)ト直接ノ關係ヲ有スルニアラサルヤノ憂慮ヲ起サルヲ得サリ
シヲ以テ去ル二月廿八日当地軍隊ノ動員準備ヲナシアルヲ急報シ置キジリ
然レニ其以後ニ於ル「マセドニア」事件ノ情況ヲ觀察スルニ当地方軍隊ノ動員準備ハ益々
「マセドニア」問題ト關係遠キノ感ナキ能ハス
「ボルカリア」政府ガ露國ノ要求ニ從ヒ「マセドニア」改革委員ノ主動者ヲ囚擣セシ
ハ既ニ報告セシ如クニシテ其後「ボルカリア」政府ハ極力「マセドニア」革命運動ノ鎮
壓ニ從事シ自ラ巴尔幹手島ノ紛擾ヲ惹起セザランヲ是レ勉ムルモノ如シ。昨今
「ソフィヤ」ヨリ当地ニ達セル報ニ由レハ過日「ボルカリア」ノ陸軍大臣ハ軍備補充ヲ為
シ「一千〇」ヲシテ「軍費」ヲ支出セシヲ閣議ニ提呈セシモ大臣會議ハ之ヲ否決
シタルヲ以テ陸軍大臣ハ遂ニ辭表ヲ呈セリト云フ。今其否決セシタル理由トシテ
新聞紙ノ報スル所ヲ見ルニ元來此軍備補充ハ既ニ入ル以前ヨリ陸軍大臣ノ要
求セシ所ノモノニシテ他ノ諸大臣モ亦其必要ヲ認メタルニアラスト云々。以下「マセドニア」
問題ニ關シ列國共ニ危懼ヲ抱クノ時ニ當リ。這様ノ軍備補充手段ヲ取ルハ巴
尔幹手島ノ平和ヲ威脅スルモノニシテ列國ヲレテ「ボルカリア」政府ノ意志ヲ疑
ハシムルノ恐レアリト云フニアルモノ如シ

元來「ボルカリア」ノ現内閣ハ露國派ノ諸大臣ヨリ成リ(陸軍大臣ヲ除ク)露國ノ「ボ
ルカリア」政府ニ對スル希望ハ殆ント容レラレザルヲナシト云フ可キ有様ナルヲ以テ「ボルカリア」
政府ノ「マセドニア」事件ニ對スル行動ハ以テ同事件ニ對スル露國政府ノ意志ヲト
スルニ足ルモノナリ

MT

514-11

37

MT

514-11

又「コンスタンチノープル」ヨリノ報ニ注意スルニ土耳其駐劄ノ露國公使及領事等ハ「マセドニヤ」ニ於ル「ボルガリヤ」人及旧「セルビヤ」ノ「アルバン」人等ノ暴動ヲ未だニ鎮壓セシメ

之等ノ情况ヨリ判断スルニ露國ハ目下バル幹半島ニ對シ自ラ事ヲ起サンヲ希望セサルハ勿論又「マセドニヤ」事件ノ大事ニ臨ミサランヲ熱望シ只徒来執リ来リタルバル幹懷柔策ヲ繼續シテ益々自國ノ勢力ヲ半島ニ養ハントスルハ徒来發布セ

ル露國政府ノ宣言世人ヲ欺カサルモノ如シ
果シテ然ラハ「オデッサ」地方軍隊ノ動員準備ノ如キ強チ之ヲ「マセドニヤ」事件ニ關係スルモノトシテノ見ル可カラサルナリ
露國ノ平和的經營ハ着々其効ヲ奏シ「アリ」(特別報告第一号参照)目下波斯方面ニ對シ露國が自ラ事ヲ豫スガ如キ「アルベント」モ思ハレズ殊ニ昨今倫敦ヨリ来ル報ヲ見ルニ波斯ニ於ル英露兩國ノ利益ニ關スル議員ノ質問ニ對シ「クランボリン」氏ハ之ニ關シテハ目下英露兩國間ニ何等ノ衝突ヲ起スノ恐れナキヲ答

辨セリト云フ

上ノ如ク觀察シ来ル時ハ露國ノ活動区域ハ恐ラクハ絶東ノ他ニ之ヲ見ザスノ能ハズ況ニヤ露國がバル幹半島及波斯方面ノ平和ヲ希望スルノ切ナルハ適ニ彼レが絶東ニ重キヲ置ク所以ヲ推和スルニ足ルモノ無キニアラサルニ於テ「オデッサ」地方軍隊ノ動員準備ハ或ハ露國が絶東ニ對スルノ運動ノ準備ナルヤモ測ルヘカラス

然リト云ハ又「オ」ニ於テハ露澳兩國ノ提議ニ係ル歐羅巴土耳其三縣改革案が果シテ實行セラレ得ベキヤ又果シテ「マセドニヤ」ノ平穩ヲ維持シ得ベキヤ或ハ遂ニバル幹半島ニ於ル列國ノ一大紛争ヲ惹起スルヲキヤハ今猶一大疑問ノ中ニ存ス
之ヲ要スルニ今回当地方軍隊動員準備ノ目的ハ果シテ「マセドニヤ」事件ニ關係ヲ有スルカ或ハ結束事件ニ備フントスルモノナルカ今日未タ之ヲ判決スルノ材料ヲ得スト
云氏恐ラクハ此二者中ノ一ニ他ナラサル可シ

MT

514-11

39

MT

514-11

38

秘し

オデッサ地方ノ近情

在オデッサ 武藤大尉

四月廿五日發

第六四號

「當地方ノ軍隊が本年度に入り特別ニ冬師準備ヲ整ヘシレ為ノ諸説紛々トシテ流布シテ其歸着スル所ナキ」ハ既ニ報告セシ如クナルが今日に至ル迄ハ未ダ何等軍隊ノ移動ヲ見ルナレ然レモ風説・由レハ右ノ準備・今ヤ全ク終了シアリト云ヒ又一部ノ人々間ニ「露軍ノ「マドニヤ」臨時台領ハ遠カラズ事實ニ現ハルナラント信スルモノアリ」然レモ今日迄ノ露國ノ行動ニヨリテ考列スル時ハ此「マドニヤ」台領ヲ露國が果シテ實行スル否ヤハ頗ル疑ハレ然レモ茲ニ耳ヲ傾クキ一説ヲ傳聞セリ「オデッサ」軍管參謀長男爵カウリバルス少將ハ當地方ニ於テ最評判高キ人ナルニテ「露國軍人社會」頗ル勢力アル人ナル由ナルが同氏が「タイムス」(倫敦)通信員ニ語リテ所ナリトテ傳フル所ヲ聞クニ曰ク「今ヤ露國ノ

MT

514-11

40

前ニハニ大緊急問題ノ横ハレアリ朝鮮問題(滿洲問題トモハス)及巴爾幹問題是ナリ然レモ此兩問題ハ素ヨリ同時ニ解決シ得ヘキモノニアラス宣シテ緩急ノ度ヲ判断シ其先後ヲ定メサルヘカラス然リ而シテ朝鮮問題ノ最緊急ナル「ハニ」ヲ追モナキ「トリス」巴爾幹問題ニ關スル露國ノ希望ハ他ニ「アラス」要スル「ゲ」ダネ「海」峽ヲ開放セントスルニ在リ此目的ハ英國トノ協商ニ由テ達「カラス」ヲ達スルヲ得シ只「回下斯」如キ協商問題ヲ直接英露兩政府間ニ開カン「ハニ」未ダ事情ノ熟セサルモノアルヲ以テ先ニ伺ヒテ此意見ヲ英露兩國ニ交換シ以テ協商ノ端ヲ開カサルヘカラス云々ト此説ハ其出所如何ニ保ハラス露國ノ觀察ニヨリ論スル時ハ實際起リ得ヘキ論ナリト云ハサルヲ得ヌ要スルニ「晚近」ハル露國ノ行動ニヨリテ察スルモ目下露國が第一ニ解決セン「テ」希望スルモノハ巴爾幹問題ニ「アラス」テ寧「口」結束問題ニ在ルハ

MT

514-11

41

疑フヲ要セサルガ如シサレバ当地方軍隊ノ出師準備ノ如キモ此軍隊
ヲ直クニ結束ニ使用セントスルヤ否ヤ素ヨリ疑ハナキ能ハストモ
ハ要スルニ已ル幹干島ノ平和ヲ維持シ結束経営ノ最終目的ヲ
達セント欲スルノ一準備ナリト云フモ恐ラハ甚レキ証言ニア
ラサルベレ

二、昨廿四日当地ニ於テ義勇艦隊ノ二十五周年祭ハ舉行セラレシ其
祭場ニ於テ義勇艦隊オデッサ支部長大佐「エルガムイシエフ」ノ爲メシ
演説ハ所カ参考材料トナルヘキモノナキニアラザレバ以テ左ニ其大
要ヲ譯述セントス氏ハ述ベテ曰ク

本日我義勇艦隊ノ二十五周年祭ニ臨ミ予ハ義勇艦隊ノ功績并
ニ同艦隊ニ關スル「アレクサンドル」三世ノ遺言ニ就キ一言セントス
一千八百七十七年ノ役ニ於テ我露軍が北京「コンスタンチノー
フ」ノ城壁ニ近ヅクヤ歐羅巴諸國ハ錯綜セラル東方問題ノ解決ニ對

シ露國ノ勢力が優勝ヲ制マシテ危懼シ大ナル騷擾ヲ惹起セ
リ世人ノ知ル如ク此時ニ當リ露土兩國間ニ締結セラレタル彼「サ
ンステファノ」準備条約ハ伯林會議ニ由テ全ク蹂躪セラレタリ此歴
史的重大ノ時機ニ於テ黑海上ニ於ル我勢力ノ皆無ナル「英國艦隊
ニ對シ」ハ明カニ証明セラレ強大ナル海軍國トノ戰爭ノ爲メ最有
利ナル手段即チ海上ノ別働戦ハ當時吾人ノ爲レ能ハサ
レナリレナリ

茲ニ於テカ一版ニ黑海内ニ於テ艦隊創設ノ必要ヲ感レ平
時ニ於テハ露國商工業上ノ要求ヲ充テレ戦時ニ於テハ巡洋
艦ノ勤務ニ適スヘキ艦艇ヲ有スル一艦隊ヲ組織セシメ企
ツルニ至レリ此考案ハ露西亞全國到ル処ニ熱心ニ歡迎セラレ慶
國心ノ榮耀ヨリ諸種ノ設計案ヲ産生セリ
露國航業獎勵會ノ爲メニ設立セラレタル海軍會社ニ於テハ伯爵

MT

514-11

43

MT

514-11

42

「コマロフスキー」委員長トレ熱心ニ此國民的希望ヲ達成セン
ヲ勉メシリ而シテ一千八百七十八年三月九日同會社ハ巡洋艦ノ登記ヲ政
府ニ登録シ今年今月廿二日勅裁ヲ得シリ

「サンステファン」ヨリ軍隊撤去ノ後直チニ義勇艦隊ノ平時の働作
ハ始メラレタリ而シテ最初ヨリ義勇艦隊ノ商業的働作ハ政府ノ目
的及露國商工業上ノ利益ト一致セサルベカラザリシガ故ニ此考慮ニ
基キ艦隊ノ航路ハ絶東ニ撰定セラレタリ第一ニ義勇艦隊ハ島
港ヘノ新兵輸送及ヒ「サハリン」島ヘノ囚徒輸送ニ従事シ良好ナル結
果ヲ現ハセリ茲ニ於テ政府ハ義勇艦隊ニ委任スルニ絶東ニ送ル
ヘキ移住民ノ輸送ヲ以テマリ此移民問題ニ關シテハ久シク政府ノ
幹旋ヲ願ヒタルモノナリ

義勇艦隊ノ軍大ナル功績ハ從來倫敦及漢堡迄ヲ經テ露國
ハ輸入マシ諸種ノ貨物ヲ直接ニ絶東ヨリ黑海沿岸ニ輸入スル
ニ至リレトス今既往二十五ヶ年間ニ於テ義勇艦隊ヲ以テ輸送
シタル貨物其他ノ量ヲ示セハ左ノ如シ

一、オデッサ絶東間ニ

乗客ニ万八千七百六十人

兵員十七万四千五百七十八人

移住民五万七千三百四十九人

囚徒二万八千〇二十人

二、黑海内ニ於テ

乗客一千七百九十二人

兵員五十五万九千九百〇三人

三、オデッサヨリ絶東ヘノ輸送貨物

三千八百七十四万八千二百二十七布度

MT

514-11

45

MT

514-11

44

四、絶東ヨリ「オデッサ」へ輸送貨物

茶一、千三百〇二カニ、千〇二七布度

其他ノ貨物

七百八十三カニ、千九百十九布度

義勇艦隊ノ最初ノ資本ハ四百十カニ、千六百〇九箇ニ過キヤリ

レガ今日ニ於テハ二千五百箇以上ニ達セリ此資本ノ増大ハ一部ハ

艦隊營業ノ利潤一部ハ政府ノ保護金ヨリ得タルモノニシテ

今日近ニ政府ヨリ更領シタル保護金ハ約一千五百箇ナリ

今日義勇艦隊ノ全カヲ以テスレハ貨物三百七十カ布度強及一カ

ハ千二百ノ人員ヲ遠洋ニ輸送スルコト得(近海航路ナレバ三千四百三人

上ニ達セタル所)他義勇艦隊ハ又軍事的ニ利用セシタル場合少ナ

カラス一十九百箇ノ此清事変ニ際シテハ義勇艦隊ノ一部ハ偵察動

務ニ服シタリ即チ「マリヨール」、「ニート」、「ウゴロツ」、「カストラマ」、「ウラ

ギ」、「ミル」及「タンボフ」ノ五隻ハ関東州總督ノ指揮下ニ移リ絶

東海軍部ノ管轄ニ属シ後ニ至テハ「オデッサ」ヨリ絶東へ航行スル

義勇艦ノ總テハ悉ク海軍部ノ管轄トナリ運送船ニ使用

セラレ就中「ウオロネー」、「ジュ」、「サラトフ」、「キーエフ」、「モスクワ」及「ヘルソン」

ノ五隻ハ兵員六百八百人官用貨物七十五カ布度ヲ清

國ニ輸送セリ殊ニ「モスクワ」及「ヘルソン」ノ二隻ハ砲備ヲナ

シ「モスクワ」ハ軍艦旗ヲ掲揚シタリ

此清事変益々増大シタル時ニ於テハ「オデッサ」ヨリ絶東へ、軍

隊輸送ノ為メ現在ノ義勇艦ノミニテハ不足ヲ告ゲ而モ露

國汽船會社ハ此目的ノ為メ十分ニ適當ナル汽船ヲ有セサ

リレヲ以テ政府ハ若干ノ外國船ヲ雇入レ且ツ購買スルハ已ムコ

ト得タルに至レリ而テ之カ為メ各汽船ノ貨物ノ受渡及其航路

上ニ於ル糧食供給ノ機關編制等ハ悉ク之ヲ義勇

MT

514-11

47

MT

514-11

46

艦隊ニ課セラレタリ義勇艦隊オシツカ支部ニヶ月間ニ自己ノ汽船外政
府ニテ雇入レル十三隻ノ汽船ヲ機装シタリ
斯ノ如クミテ義勇艦隊ハ軍隊輸送上最緊要且ツ責任ニ働作ヲ負
担シタリ

清國ヨリスル我軍隊ノ撤去モ未ダト全ク義勇艦隊ニ由ラ遂行セシタリ
東平島ノ占領及北清事変ニ於ケル義勇艦隊ノ迅速適當ナル働作ニ関
シ軍務大臣ノ呈出シタル奏上ニ對シテ皇帝陛下ノ至仁ナル勅語ヲ膺フシタル所ナリ
上述ノ如ク平戰兩時及外交上ノ紛乱ヲ醸シタル場合ニ際シ我義勇艦隊ノ
遂行シタル働作ノ般ヲ略述シタルニ過キスト臣臣亦以テ其功績ノ如何ニ著大ナルヲ
窺フニ足ラン

一千九百年一月以前ニ於テハ義勇艦隊ハ絶東航路上ニ競争者ヲ有セザリシモ沿岸
航海ニ関スル法規ノ發布ト共ニ義勇艦隊ハ新タニ創設セシタル多數ノ汽船会社ト
競争セルヲ得ルニ至リ頗ル困難ヲ感ゼリ蓋シ高價ニ我義勇艦隊ハ彼廉價ナル代價

物船比スル著大ナル經費ヲ要スルヲ以テナリ茲ニ於テ我義勇艦隊委員ハ經費輕減ノ爲メ
左ノ諸汽船ヲ現役勤務ヲ省クコトニ決セリ即チ營業事業ヲ爲メ最多額ノ經費ヲ要スル
「モレンスキ」、「モスクワ」、「ヘルソ」及「アリヨール」四隻是ナリ

國議院ハ義勇艦隊ノ既往ノ功績及將來ノ必要ニ鑑ミ之ヲ保護シ且ツ發達セシム
ルノ必要ヲ認メ向テ十ヶ年間ヲ期シ年々二十万留保護金ヲ此ルコトニ決セリ而シテ
此決議ハ一千九百〇二年二月四日勅裁ヲ得タリ

至仁優渥ナル聲慮ト艦隊其ノ自ラ本國ニ對スル功績トヨリ益々擴張
ラレタル我義勇艦隊ハ既往ノ功績ニ踴ルニ踴躍セザルコトナラズ將來ニ向テモ
曾テ二十五年前ニアレクサンドル三世ノ露國民ニ此ハ人道言ヲ朕膺シテ
之ヲ遂行シ得シコトヲ予ノ深ク信シテ疑ハカル所ナリ由テ茲ニ義勇艦隊司
令長官兼ニ義勇艦隊ニ屬スル總ヲ諸員ノ幸福咸大ヲ祈リ高ク
大杯ヲ揚グルモノナリ

(終)

MT

514-11

49

MT

514-11

48

高松府
高松府
高松府

機密

明治三十六年六月十一日
同其年六月十一日
日起草
日發遣

秋葉局長
山田

閣議三十八年六月十一日
主任

李友

立憲黨、未だ不便

小村大佐

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

外務省

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

オカワサ方面ニ於テハ動向不明

MT

514-11

51

MT

514-11

50

5-0094

0099

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大臣	總務長官	政務局	通商局	人事課	會計課	電信課
----	------	-----	-----	-----	-----	-----

電受第 648 號

North. Dated. Aden, 8 6 1903 1-12 M.
Via East. Rec'd. 9 " 190 " 9-30 a. M.

Komura
Tokyo

No. From 武 藤 公 未 得 本 部 次 長

Since my last report the situation has not changed and will likely remain same. I leave here to go for Japan.

Sijima

23

MT 514-11 52